

2023年度 運輸安全マネジメントの取り組み

株式会社ゼロ・プラス関東
代表取締役 木内 哲也

A わが社は毎年度、運輸安全マネジメントに関わる具体的な取り組み方策を定め社内に掲示します。

【安全方針】

- 1) 輸送における安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識をし、輸送の安全の確保に努めます。
- 2) 現場からの安全に関する声に耳を傾け、現場の状況を十分に踏まえつつ、全従業員に対し輸送の安全確保が最も重要であるという意識を徹底します。
- 3) 輸送の安全に関する計画を策定し、実行、チェックを行い改善をする事（PDCA）を確実に実行し、安全対策を常に見直すことで、全従業員が一丸となって業務を遂行し、絶えず輸送の安全性向上に努めます。

【安全活動方針】

- 1) 安全はルール守る事から始まる。
- 2) 地道に愚直に継続的に。（安全重視の風土醸成）

【安全方針に基づく活動計画】

- 1) 各部署安全担当者（管理者）とのBLK安全・品質会議を定例開催（毎月10営業日までに）
…事故事例の共有や事故発生時のドライブレコーダーを活用した対策会議。社長との安全に関する意見交換。
- 2) 年間安全活動計画の実行と進捗確認
…各部署安全活動共通項目（1366号準拠講習・添乗指導・バック時の教育指導）の実施計画に対する進捗報告。

【安全に関する情報交換】

- 1) 各部署での小集団や朝礼等にてBLK安全・品質会議での内容、決定・指示事項、注意喚起を乗務員へ展開。
- 2) 協力会社に対し、毎月定例での協社会議（連絡会）でBLK安全・品質会議での内容、決定・指示事項、注意喚起を管理者へ水平展開。
- 3) 安全担当者（管理者）は、従業員や協力会社も含め部署内での不安全情報を収集し、関係部署へ展開。

【昨年度の安全に関する反省事項】

- 1) 交通事故件数が増加。
- 2) 大型輸送機材の特性による接触事故が多く発生。（実技での教育不足）
- 3) 経験年数 3年未満の乗務員による交通事故が多発。

【反省事項に対する改善方法】

- 1) 定例の安全品質会議にて事故発生時ドラレコ映像を共有し、各安全担当者と再発防止策を考え部署でのKYTに活用する。
- 2) 事故惹起者教育と添乗指導教育を強化する事に合わせ、指導者の教育を継続して行なう。
- 3) 事故惹起者及び経験年数の浅い乗務員に対し、外部機関が行なう交通安全講習へ参加をさせる。

【2023年度 取り組み計画】

- 1) 未取得事業でのGマーク申請（2023年度）
- 2) 協力会社と共同での安全活動。